



88122325



JAPANESE B – STANDARD LEVEL – PAPER 1
JAPONAIS B – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 1
JAPONÉS B – NIVEL MEDIO – PRUEBA 1

Thursday 15 November 2012 (afternoon)

Jeudi 15 novembre 2012 (après-midi)

Jueves 15 de noviembre de 2012 (tarde)

1 h 30 m

TEXT BOOKLET – INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for Paper 1.
- Answer the questions in the Question and Answer Booklet provided.

LIVRET DE TEXTES – INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'Épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

CUADERNO DE TEXTOS – INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la Prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

問題 A

うちゅうでも日本食

今、日本食は世界中でとても人気があります。それは、「体にいい」、「おいしい」などの理由からです。最近、^{こくさい}国際うちゅうステーションにいる ^{ひこうし}うちゅう飛行士のための、「うちゅう日本食」ができました。うちゅうでも日本食ブームになるのでしょうか。



まず、たまごスープを食べてみました。うちゅうでは入れ物からストローで ^{なかみ}すって食べますから、中身は小さくしてあります。

うちゅうラーメンは、2005年の夏、^{のぐち}野口うちゅう ^{ひこうし}飛行士が食べたことで有名です。ちょっと変わったあじでしたが、おいしかったです。



うちゅうで食べる物は、毎日食べている物とにしています。でも、うちゅう食は、長持ちする食品で、また安全でなければいけません。

これからは、外国の ^{ひこうし}うちゅう飛行士も、日本食のおいしさを楽しんでもらいたいですね。

^{さんこう}参考 : <http://techon.nikkeibp.co.jp> (2011年1月30日)

問題 B

節電 みんなの くふうは？

今、日本では電力が足りませんね。それで、日本中の人々が、電気をあまり使わないようにしています。これを「節電」といいます。

[-例-] その けっか、みんなが いろいろな くふうを していることが分かりました。例えば、内山さんは、「ピアノの練習や晩ご飯などは、電気をつけなくてもいい時間にしています。」と話しています。また、平井^{ひらい}さんは、れいぞうこを開ける回数をへらしました。

でも、節電は大変な事もあります。例えば、駅やスーパーでエスカレーターが止まっていると、お年よりは大変です。また、今まで多くの日本人はスイッチ 1つで冬は家をあたためて、夏はすずしく していました。でも、今は服をきたりぬいだり、まどやカーテンを開けたり閉めたりしています。

[-8-] 例えば、「夜、一つの部屋に家族が集まって、テレビをけして、読書をしたり、話したりするのが楽しいです。」（桐山^{きりやま}さん）。「放課後、一人でゲームをするより、みんなでボードゲームをするほうが楽しいです。」（山口君）。「夜、道が暗くなったので、ほしが きれいに 見えます。」（ちのねさん）。

[-9-] みなさんも、くふうしてみてください。

さんこう
参考：2011 年 5 月 13 日づけ朝日小学生新聞

問題 C

ミサコ・ロックスさん

ミサコさんはアメリカのニューヨークに住んでいて、アメリカの若い人から大人気のまんが家です。



最近、日本で「親子で楽しむ子ども英語じゅく」というまんが本を出しました。ストーリーの中では日本に住みはじめたアメリカの女の子が、日本人の友だちといっしょに、花見、子どもの日、祭りなどを楽しみます。まんがには日本の毎日の様子がかいてあります。また、話が日本語と英語の両方で書いてある点も人気です。

ミサコさんは小学生の時、ハリウッド映画に熱中して、「^{しょうらい}将来はアメリカに住む」と決めました。そのころはインターネットがありませんでしたから、インフォメーションを集めるのが大変でした。でも、中学2年生の時からアメリカに留学するチャンスがある東京の私立大学をめざして、がんばりました。

ミサコさんは大学生の時、アメリカに留学しました。そして、小学生に書道やおりがみを教えたり、アニメをかいたりして、よろこばれました。

今はアメリカの学校で話をしたり、まんが教室を開いたりしながら、新作をかいています。新作は「ちょっと変わった子だった」という自分の小学生時代^{じだい}の話だそうです。「アメリカ文化と日本文化の間の橋になれるのが、うれしい。」とミサコさんは話していました。

さんこう
参考：2011年5月25日づけ朝日小学生新聞

問題 D

体育でタグラグビー ふえています



タグ



タックル

「タグラグビー」は子どもも安全にラグビーを楽しめるように考えられたスポーツです。今、体育の授業でタグラグビーを取り入れている学校がふえています。専門家は「小学校の体育の一つの目的は、運動の楽しさを学ぶこと。タグラグビーはそれにむいている。また、むずかしいぎじゅつが不要ないこともいい点だ。」と話しています。小学生チームによる全国大会もあるので、今後も広がっていきそうです。

タグラグビーは1990年ごろにイギリスで開発されました。ルールはだいたいラグビーと同じですが、タグラグビーにタックルはありません。ですから、安全で、だれでも楽しめます。ボールを持った選手は体にタグをつけてプレーし、タグをとられたら、止まってパスをしなければなりません。また、チームの人数も5人から7人ぐらいでプレーします。

小学校で、1年生にタグラグビーを教えた先生は、「みんなにボールが回って良かった。体育が得意ではない子も楽しんでいた。」と話していました。生徒たちは、「チームに足が速い人がいなかったが、チームワークで勝てた。チームワークの大切さが分かった。」と話していました。先生も、「ラグビーでは、『一人はみんなのために、みんなは一人のために』というのが、これはクラス活動でも同じだ。タグラグビーを通して、みんなで協力できるようになった。そして、クラスの人間関係も良くなった。」と、よろこんでいました。

日本ラグビーフットボール協会が、タグラグビーの用具を貸したり、新しいクラブを始めるおうえんをしています。(電話 03-3401-3321)

参考：2004年9月22日づけ朝日小学生新聞